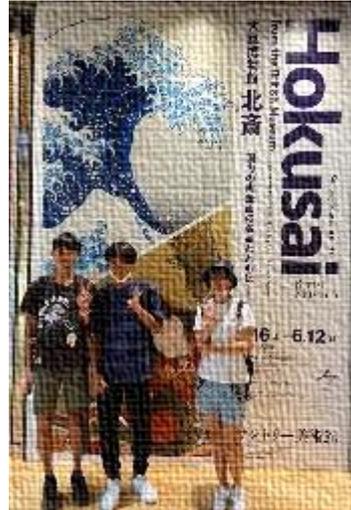




## 修学旅行記 第2日目



今回の修学旅行では、各教科の見方・考え方に基づくミッションが出されています。建築、歴史、文学、文化、芸術、体育など、船や電車での移動の際も、様々なところにアンテナをはって写真を撮っています。おがさわら丸から捉えた写真からも様々なことを学んでいる様子が伺えます。構図も工夫していますね。



26時間の船旅を経て、無事に竹芝に到着。都内での1日目は、サントリー美術館で開催中の「北斎 一国内の肉筆画の名品とともに」を観覧しました。美術の授業で水墨による表現に取り組んでいるため、北斎の肉筆画の迫力に一同、圧倒されました。富岳三十六景でおなじみの北斎は、社会の歴史分野でも学習した人で、版画のイメージが強いのですが、肉筆画は、筆のタッチや勢いが感じられ、掛け軸として軸装されている作品を鑑賞し、日本文化についても学習を深めることができました。また、学芸員さんによるやさしい展示解説では、丁寧に美術館や展示、作品についての解説をしていただきました。



奥に東京タワー→

夕食は、東京ミッドタウン内の平田牧場でとんかつに舌鼓。ごはんもモリモリ食べ、次の日への英気を養いました。

